

シリーズ累計発行部数580万部突破の大人気作品、待望の実写映画化決定！

『鬼の花嫁』

永瀬 廉 × 吉川 愛 W主演で2026年3月27日（金）全国公開！

スターツ出版株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：菊地修一）発行の『鬼の花嫁』が、永瀬廉 × 吉川愛W主演にて、待望の実写映画化が決定いたしました。原作は、2020年に刊行され、多くの読者から支持されたクレハ著の小説で、シリーズ累計発行部数580万部（小説・コミックス・電子含む）を突破する大ヒット作品です。「コミックシーモア年間ランキング 2022・2023」少女コミック編では2年連続 1位を獲得、「コミックシーモアみんなが選ぶ!!電子コミック大賞 2023」では（男性部門、女性部門を含む）大賞を受賞するなど数々のランキングを席巻。

本格ラブストーリー映画初主演となる永瀬廉さんと、同性からの支持も熱い若手最注目女優の吉川愛さんが、初共演にしてW主演で、2026年3月27日（金）に全国公開となります。

- 公式サイト：<https://movies.shochiku.co.jp/onihana/>
- 公式X／公式Instagram／公式TikTok：@onihanamovie



©2026「鬼の花嫁」製作委員会



原作小説：鬼の花嫁（スターツ出版文庫）
©クレハ・白谷ゆう／スターツ出版



コミック：鬼の花嫁（noicomi COMICS）
©富樫じゅん・クレハ／スターツ出版

映画『鬼の花嫁』

「見つけた、俺の花嫁——」

あやかしと人間が共存する世界。優れた容姿と能力で人々を魅了するあやかしたちは、時に人間の中から花嫁を選ぶ。あやかしにとって花嫁の存在は唯一無二。一度花嫁を見初めたら、生涯その花嫁だけに愛を捧げる。特にあやかしの中でも最も強く美しい“鬼”の花嫁に選ばれることは、最高の名誉と言えた。妖狐の花嫁である妹と比較され、家族から愛されず虐げられてきた柚子が会ったのは、あやかしの頂点に立つ“鬼”だった。

「見つけた、俺の花嫁——」 鬼の一族の次期当主・玲夜に花嫁として見出された柚子。突然の事態に戸惑いながらも、徐々に玲夜の不器用だけど優しいところや誠実な姿に惹かれていき、玲夜もまた、生まれながらに一族の行末を背負い、一人抱えてきた重責と孤独が柚子によって癒されていく。

互いに居場所を見つけ、愛を確信していく2人。しかし、次第に柚子は玲夜の花嫁として自分がふさわしいのか、そして玲夜は柚子が急激にあやかしの世界に巻き込まれてしまうことが本当に幸せなのか、不安を覚える。果たして運命に導かれた2人は、真実の愛を掴むことができるのか——

初共演にしてW主演で、鬼×人間のラブストーリーに挑戦！ 出演者プロフィール



●主演：鬼龍院玲夜（きりゅういん・れいや）役：永瀬 廉さんプロフィール

あやかしの頂点に立つ鬼の一族の次期当主で、崇高なカリスマ性を持つ鬼龍院玲夜（きりゅういん・れいや）を演じるのは、**本格ラブストーリー映画初主演となる永瀬 廉**。King & Princeのメンバーとして活動する傍ら、俳優としても『弱虫ペダル』（20）で第44回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞すると、NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」（21/NHK）、「夕暮れに、手をつなぐ」（23/TBS）、「ラストマンー全盲の捜査官ー」（23/TBS）、「余命一年の僕が、余命半年の君と出会った話。」（24/Netflix）など数々の作品に出演。今年12/24には俳優として『映画ラストマン -FIRST LOVE-』（25）の公開、更に同日にKing & Princeとしての7枚目のアルバム「STARRING」の発売が控え、2人体制となって初めて第76回NHK紅白歌合戦への出演が決定する等、飛ぶ鳥を落とす勢いの活躍です。「全角度国宝級」の異名を持つ彼は、類まれなる容姿と能力で人々を魅了するあやかし・鬼がぴったりの役どころ。柚子に出会ってから一途に愛を捧げる玲夜を演じる永瀬は、「玲夜の柚子に対するちょっと重めの愛の塩梅など、池田監督と探りながら日々撮影に臨んでいました。」とコメント。

●主演：東雲柚子（しののめ・ゆず）役：吉川 愛さんプロフィール

家族から愛されず虐げられてきた平凡な女子大生・東雲柚子を演じるのは**吉川 愛**。子役からキャリアを積み、ヒロインを演じた『ハニーレモンソーダ』（21）では第45回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。NHK連続テレビ小説「おちよらん」（20/NHK）、「恋はつづくよどこまでも」（21/TBS）、「明日、私は誰かのカノジョ」（22/MBS・TBS）、「降り積もれ孤独な死よ」（24/YTV・NTV）への出演をはじめ、**振り幅の大きな演技で様々な役をものにし、存在感を見せる実力派**。Instagramのフォロワー数は脅威の133万人超え（2025年12月2日現在）と**同性からの支持も熱い若手最注目女優**です。出演にあたって吉川は、「柚子ちゃんは悲しい境遇を持ちながらも家族思いで芯の強い部分も併せ持つ子なので、その両面を監督と丁寧に話し合いながら演じていました。」と気合十分に語っています。



●監督：池田千尋

メガホンをとるのは「大豆田とわ子と三人の元夫」（21/KTV・CX）、「40までにしたい10のこと」（25/TX）でザテレビジョンドラマアカデミー賞監督賞を受賞、他にも『君は放課後インソムニア』（23）、『九龍ジェネリックロマンス』（25）など話題作を手掛ける池田千尋。「永瀬くん、吉川さんのひたむきに支えられ、向き合い心を交わした感触が今も残り続けていて、二人の刻んだ時間をどれだけ昇華できるか、楽しみながら編集を進めています。」とコメント。

キャストコメント

永瀬 廉【鬼龍院玲夜（きりゅういん・れいや）】

こんなにも真っすぐなラブストーリーで主演を務めるのは、今回が初めてです。

出演が決まった時は、少し緊張もありましたが、玲夜という役をいただけたことがとても嬉しかったです。鬼と人間のラブストーリーという特異な設定がどのように描かれていくのか、仕上がりを楽しみにしています。

玲夜の柚子に対するちょっと重めの愛の塩梅など、池田監督と探りながら日々撮影に臨んでいました。2人の恋模様や関係性の変化はもちろん、衣裳、メイク、美術、ロケーションの全てが「鬼の花嫁」の世界観に没入できる素敵な作品になっていると思います。

是非、公開を楽しみにお待ちください。

吉川 愛【東雲柚子（しののめ・ゆず）】

脚本をいただき、あやかしがいるのが当たり前というちょっと不思議な世界がどのように描かれるのだろう、衣裳はどのようなものになるのだろうと楽しみが積み重なっていきました。柚子ちゃんは自分にはない儚さを持っているので（笑）、その儚さをどう表現し、伝えていか日々模索していました。また、悲しい境遇を持ちながらも家族思いで芯の強い部分も併せ持つ子なので、その両面を監督と丁寧に話し合いながら演じていました。とても素敵なキャストの皆さんと一緒に、一生懸命頑張りましたので、ぜひご覧ください！

スタッフコメント

クレハ（原作小説）

原作を書かせていただいております、クレハです。

実写化のお話を聞いた時には信じられずうまく言葉になりませんでした。

玲夜と柚子を演じてくださるお二方を始め、豪華なキャストの皆様が関わってくださり、『鬼の花嫁』の世界がより深まっていくのを感じて嬉しく思います。

さらに多くの方に知っていただける機会をいただき感謝の言葉もありません。

これからもどうぞ『鬼の花嫁』をよろしくお願いいたします。

富樫じゅん（漫画）

実写映画化という素晴らしい機会をいただき、これまでこの作品を支えてくださったすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

玲夜役は永瀬廉さん。品格のある端正なビジュアルと芯の強さを感じさせる目力で、まさに鬼の次期当主にふさわしい方。柚子役はお人形のように可愛らしく巧みな表現力が魅力的な吉川愛さん。素敵なおふたりの演技に注目です。

新しい『鬼の花嫁』の世界がどのようにスクリーンに映し出されるのか、今からとても楽しみです。

映画『鬼の花嫁』は、3/27（金）公開です。
運命に導かれた2人が真実の愛を掴む、究極のラブストーリーにぜひご期待ください。

【作品概要】

- タイトル：鬼の花嫁
- 原作：クレハ『鬼の花嫁』（スターツ出版文庫）
※コミカライズ：作画・富樫じゅん／原作・クレハ（スターツ出版「noicomi」）
- 出演：永瀬 廉 吉川 愛 * W主演
- 監督：池田千尋
- 脚本：濱田真和
- 製作：「鬼の花嫁」製作委員会
- 配給：松竹株式会社
- 公開：2026年3月27日（金）
- クレジット：©2026「鬼の花嫁」製作委員会
- 公式サイト：<https://movies.shochiku.co.jp/onihana/>
- 公式X／公式Instagram／公式TikTok：@onihanamovie



「鬼の花嫁」シリーズ（スターツ出版 刊） ～累計発行部数580万部突破～



『鬼の花嫁』
（スターツ出版文庫）
クレハ 著／イラスト：白谷ゆう
ISBN/978-4-8137-0993-0
814円（税込）



『鬼の花嫁』
（noicomi COMICS）
作画：富樫じゅん／原作：クレハ
ISBN: 978-4-8137-6124-2
715円（税込）

<特設サイトはこちら> <https://novema.jp/article/oninohanayome>

書籍やコミック、作者の最新情報など「鬼の花嫁」に関する様々なニュースをお届けしています。